

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山産業フェア事業							事業コード	310110					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興							
	施 策 名	2 産官学金連携を通じた経営力の強化						施策コード	812					
事業担当	所 属	25050000 産業政策部 産業観光課				所属長	山田 信義							
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
計画期間	開始年度	平成16年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名				R4現在の状況		継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	商業・工業・農業等に関わる関係団体が一体となり、三段池公園体育館及び周辺で本格的な物産展を開催し、情報交換、交流などを通じて取引機会の拡大、異種業者との情報交換、交流産業育成と活性化を推進する。				
対象者	市内事業者	対象者数	3,842	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,800		3,900		3,900		3,900						
	② 補正予算	△ 3,800		△ 3,810		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		0		90		3,900		3,900						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		1,950		0						
	③ 府支出金	0		0		0		1,950						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		90		1,950		1,950						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	0		90										
	③ 執行額	0		90										
	④ 執行率	0.0%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.03	/	0.00	0.00	/	0.00				
	② 概算人件費	0		240		240		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		330		240		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山産業フェア事業(地域振興基金繰入)		種類	基金繰入金		実績金額	90		決算付属資料	38		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	来場者数	人	60000	/	70000	0	/	70000	0	/	70000
	取引機会拡大に繋がった出展者	者	83	/	50	0	/	50	0	/	50
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	出店企業数	者	125	/	150	0	/	150	0	/	150
	単位あたりコスト		30.4								
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	本事業のような規模の物産展の市内開催はあまりなく、本市の産業振興にとって必要性は高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	実行委員会の主管である福知山商工会議所には本事業の開催実績もあり、多くの商工業関係団体との連携も強く、より多くの事業所出展が期待できるため、効率的である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	平成30年度の事業棚卸しにより、来場者数だけでなく出店者の取引機会拡大が重要な成果と考え、「来場者数」と「取引機会拡大に繋がった出展者数」を成果指標とした。 出展者のアンケート調査において、令和元年度は、125事業所中83事業所が拡大に繋がったと回答しており、取引拡大に繋がっただけでなく、自社商品(サービス)の感想が直接聞けたことや、企業PRに繋がったなどの意見が多数あがった。本事業は企業活動に有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催されなかった。令和3年度も開催に向けて会議を開き準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。中止までにかかった経費を対象に補助金を交付した。 令和元年度における取引機会の拡大に繋がった事業者は、出展者125社のうち83社であり、半数以上の出展者は、出展したことによる成果を実感していた。取引機会の拡大以外では、本フェアの集客力の高さを実感されており、企業PRができたことや自社商品(サービス)の感想を来場者から直接聞くことができたなどの意見も寄せられ、出展者の満足度は高い。		
改 善 策	本市で開催されているイベントの中でも集客のあるイベントであることから、出展者にとって魅力的である。 成果目標達成のためにも、より多く来場いただけるようイベント広報等に努めるとともに、今後は出展者自身によるSNS等での自発的な発信や、来場者がより地元産業を知って、普段から応援するといった機運醸成も必要である。 また、出展者の取引機会拡大も重視しつつ、地域の将来を担う子ども達が、地元産業を知り、将来の起業や地元就職に繋がるようなイベントになるよう、実行委員会や関連団体により一層働きかけていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	本市の地元産業をPRし、出展事業者の取引機会拡大にも繋がるイベントのため、引き続き事業の支援を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山市産業支援事業							事業コード	310164		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施策名	2 産官学金連携を通じた経営力の強化						施策コード	812		
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課				所属長	山田 信義				
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市販路開拓支援事業補助金交付要綱、福知山市オンライン商談会出展補助金交付要綱、福知山市自社ECサイト構築支援事業補助金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山産業支援センターを運営し、あらゆる産業分野において経営上の課題を抱える中小企業・小規模事業者・農業従事者等や起業を志す人の課題解決に向けた支援を行うことで地域経済の活性化を図る。また、市内で開発・生産された自社商品及びサービスを周知するため展示会等へのイベントに出展する際の経費や、ECサイトを構築し販売する経費の一部補助することで、事業者の販路開拓を支援し産業の振興を図る。					
対象者	市内事業者		対象者数	3,842	単位あたりコスト	8.2
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	30,361		30,411		32,460		31,735					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
	小計(①～③)	30,361		30,411		32,460		31,735					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	14,779		15,073		17,615		1,771					
	③ 府支出金	0		0		0		13,990					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	15,582		15,338		14,845		15,974					
決算情報	① 流充用額	0		△ 4,724									
	② 配当予算	30,361		25,687									
	③ 執行額	24,390		25,664									
	④ 執行率	80.3%		99.9%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.55	/	0.10	0.71	/	0.00	0.71	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	4,650		5,680		5,680		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		29,040		31,344		5,680		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山市産業支援事業(地方創生推進交付金)		種類	商工費国庫補助金		12,704		決算付属資料	18		頁
			福知山市産業支援事業基金繰入			基金繰入金		12,886			38		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	販路拡大や売上up等につながった件数	件/年	155	/	30	157	/	30	126	/	100
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	相談件数	件/月	82	/	30	82	/	30	80	/	60
		単位あたりコスト	321.9		297.4		320.8				
	販路開拓支援事業補助金申請件数	件/年	/		/		/		/		25
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	誰でも何度でも無料で相談することが可能で、お金をかけずにビジネスの流れを変える知恵出しができるため、市内の産業振興にとって必要性が高い。相談予約もほぼ埋まっておりニーズは高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	本事業の委託先である「一般社団法人福知山産業支援機構」は、本事業を行うために市内商工団体により組織された法人であり、各関係機関との連携も密にとれるため効果的に事業が行える。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	相談者への後追い調査によって聞き取った成果やニーズを把握・反映することにより、相談機能や利用者の満足度の更なる向上に努めている。ITアドバイザーやデザインアドバイザーという専門家を配置することにより、相談者の困りごとに応えることができています。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	アイデア出しによる成功事例や事業者同士のマッチング事例も着実に増えている。また、利用者への聞き取り調査においても高い満足度やセンターの必要性に関するコメントをいただいている。		
改 善 策	センターの認知度を向上させることで新規相談者を獲得し、アイデア出しによる成果事例や事業者間のマッチング事例をさらに増やしていく。そのために、ホームページやSNS等で積極的に情報を発信していくとともに、産学官連携及び他の産業支援機関との連携強化を図る。新型コロナウイルス感染症のため対面での販路開拓難しい状況が続いたため、令和4年度から自社ECサイト構築とオンライン商談会への参加に対する補助金制度を制定し、業績指標にも加えた。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	広報を積極的に行いセンターの認知度を向上させることで新規相談者を獲得する。販路開拓支援事業補助金についても周知を行い申請件数の増加に努める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	新型コロナウイルス対応緊急資金等特別支援事業						事業コード	310170			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施 策 名	2 産官学金連携を通じた経営力の強化					施策コード	812			
事業担当	所 属	25050000 産業政策部 産業観光課				所属長	山田 信義				
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和9年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市新型コロナウイルス対応緊急資金等特別支援事業要領										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて経営状況が悪化した中小企業者が利用する融資に対して、市の単独事業として利子補給を実施し、経営の継続、再生、安定を支援する。				
対象者	市内中小事業者	対象者数	3,822	単位あたりコスト	9.3
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0		15,515		18,013		30,507					
	② 補正予算	37,260		16,800		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		37,260		32,315		18,013		30,507					
予算財源内訳	① 一般財源	1,260		0		23		41					
	② 国支出金	36,000		16,800		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		15,515		17,990		30,466					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	37,260		32,315									
	③ 執行額	36,367		31,649									
	④ 執行率	97.6%		97.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.31	/	0.00	0.50	/	0.00	0.00	/	0.00			
	② 概算人件費	2,480		4,000		4,000		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		38,847		35,649		4,000		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	新型コロナウイルス対応緊急資金等特別支援事業基金繰入		種類	商工費国庫補助金		16,800		決算付属資料	20		頁
			新型コロナウイルス対応緊急資金等特別支援事業基金繰入			基金繰入金		14,784			40		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	受給者の事業継続割合	%	0	/	0	100	/	100	100	/	100
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	利子補給金額	千円	0	/	0	367	/	1260	14841	/	17990
	単位あたりコスト				99.1		2.1				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	コロナ禍にあって、事業者の手元資金・運転資金が不足する中で、資金調達に係る利子負担を軽減することができる。	☐ 高い ☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	地方創生臨時交付金を基金に積み立てることで後年度の財源を確保した。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	長期的な利子補給を実施することで資金繰りの安定化を図っている。制度が必要な事業者が利用できるように、市内の金融機関にも周知を行っている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	コロナ禍にあって事業資金を必要とする事業者に対して、有効な資金調達手段の一つとして制度を提供できている。		
改 善 策	令和4年度においても新規受付を継続し、利子補給を継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	令和4年度までの受付分に対する利子補給を行う。来年度以降の申込受付については京都府の新型コロナウイルス対応緊急資金の実施状況等をみながら検討する必要がある。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	商工・産業政策事務管理事業					事業コード	320102				
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施策名	2 産官学金連携を通じた経営力の強化				施策コード	812				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課				所属長	山田 信義				
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市の商工業振興及び産業の発展、各事業の円滑な推進、産業政策管理事務の適切な運営 企業経営や産業振興などに関心を持ち、地域の活性化につながる講演会の開催										
対象者	市民				対象者数	76,377		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()										
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス株式会社										
事業概要 (箇条書き)	・福知山市の商工業振興及び産業の発展、各事業の円滑な推進のための事務的経費 ・その他産業政策管理業務に係る事務的経費										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	需用費	1,449	消耗品費、印刷製本費、電気料、燃料費、備品等修繕料								
	使用料及び賃借料	975	複写機使用料、駐車料・高速道路等通行料								
	役務費	575	郵送料、電信・電話料等								
	委託料	79	警備業務								
	旅費	27	普通旅費								

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	3,855		3,738		3,196		3,311			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		3,855		3,738		3,196		3,311			
予算財源内訳	① 一般財源	3,855		3,699		3,177		3,292			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		39		19		19			
決算情報	① 流充用額	141		△ 76							
	② 配当予算	3,996		3,662							
	③ 執行額	3,538		3,105							
	④ 執行率	88.5%		84.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.09	/	0.20	0.07	/	0.00	0.07	/	0.00	
	② 概算人件費	1,220		560		560		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,758		3,665		560		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	公用車(産業観光課)		種類	財産売払収入		33		34	頁
						実績金額		決算付属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
			/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	経済講演会の実施	回	2 / 2	1 / 2	0 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		1720.0	3538.0			
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	必要な物品等を滞りなく用意することにより、産業政策部の運営に貢献した。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	事務管理的経費として一括管理ができることで各事業の事務処理を円滑に行えることができた。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	事務管理的経費として、各事業の円滑な推進に寄与している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	商工業振興及び産業振興を推進するための事務について最小の経費で実施している。本事業によりその他の各事業が円滑に実施できている。【定性的評価】		
改 善 策	令和元年度から課内事務管理と部内事務管理事業を統合し実施している。事務管理的経費を一括管理することにより合理的な事務執行を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--